

2022年2月18日

環境論壇「グリーンインフラとその持続的な活用」についての投稿の呼びかけ

大沼あゆみ・古田尚也・柘植隆宏・笹尾俊明

第15巻第2号の環境論壇のテーマは「グリーンインフラとその持続的な活用」とします。

自然の働きを利用したインフラや土地利用である「グリーンインフラストラクチャー（グリーンインフラ）」に対する関心が高まっています。

例えば、豪雨の際に、森林や遊水地に一時的に水を貯えることで、河川に流入する水のピーク時の水量を抑える対策は、グリーンインフラを活用した治水の代表例です。

このようなグリーンインフラは、堤防などの人工的なインフラである「グレーインフラ」よりも、整備や維持管理にかかる費用が安価であり、生態系や景観への悪影響も小さい場合が多いといわれています。気候変動の深刻化に伴い自然災害が増加する中、これらの利点から、国内外の行政計画等において、その取り組み推進が謳われることが増えています。

気候変動への適応をはじめとしたさまざまな分野において、今後、グリーンインフラは重要な役割を果たすと考えられており、環境経済・政策学分野における研究の重要性も高まるものと考えられます。

そこで第15巻第2号の環境論壇では、グリーンインフラに関する事例研究と論考を募集します。グリーンインフラを導入し持続的な活用を行うことで期待される効果や今後の課題などについて自由に論じてください。レビュー論文も歓迎しますが、単なる先行研究の列挙ではなく、独自の視点での整理と考察を求めます。本学会としては、自然科学的側面や技術的側面を踏まえつつも、経済・政策・制度的側面を重視します。皆様の積極的な投稿を呼びかけます。

投稿規定

環境経済・政策学会の会員・非会員を問わず投稿を受け付けます。著者全員が非会員の場合、投稿料5千円（税込）を、また、掲載が決定した場合は、別途掲載料5千円（税込）を支払ってください。ただし、編集委員会が執筆を依頼した場合は、その限りではありません。ご自身の研究結果を含まなくともかまいませんが、他者の研究結果・データ・主張等を用い

る場合は、必ず出所を明確にしてください。また、総説の紹介ではなく、ご自身の視点で主張を展開してください。さまざまな分野の専門家および一般市民を対象としたものであることを念頭に置かれ、高度に専門的な論考はお避けください。

- ・ 投稿論文は未公刊のものに限ります。また、他雑誌との二重投稿を禁じます。投稿論文を外国語訳し、外国語雑誌に投稿することも禁じます。
- ・ 字数制限は、本文の上限 5 千字（注釈・参考文献を含む。図表を除く）、また図表の総数を上限 4 点とします。字数制限は必ずお守り下さい。なお、文字数は、MS ワードのステータスバーに表示されるものではなく、文字カウントダイアログボックスに表示される「文字数（スペースを含めない）」で数えてください。
- ・ 第 1 ページに、タイトル、名前（邦文および英文）、所属、メールアドレスを記入し、論文は第 2 ページから始めて下さい。英文タイトル、論文要旨、キーワードは不要です。
- ・ 記述のスタイルは、『環境経済・政策研究』の投稿規定・執筆要領 (http://www.seeps.org/pdf/journal/jj_instruct2019.pdf) と同一です。なお、参考文献を引用する際は、該当ページもお示しください。また、文書は MS ワードで作成をお願いします。
- ・ 投稿は、学会 web から行ってください。投稿出来ない場合は、笹尾 (tsasao@fc.ritsumei.ac.jp)まで、メールで送付してください。

締切：2022年5月20日（金）

投稿された論考は、編集委員会で迅速に採否を決定します。その際、修正を求めることがあります。なお、不採用の場合でも、レフェリー・レポートは特にありませんので、ご了承下さい。

以上